



# ぽかぽか



## 地域包括ケア病床の役割

地域包括ケア病床 専従社会福祉士 上田 直子

地域包括ケアシステムは、高齢者に対して「住まい・医療・介護・介護予防・生活支援」が一体的に提供されることを目的に、各自治体の実情に応じ、その体制が確実に整われつつあります。

私たち、協和中央病院においても、「医療」の分野で地域包括ケア病床の充実を図り、介護及び介護予防では、居宅介護支援及び通所リハビリテーションが稼働し、高齢者のニーズと資源を繋ぐ役割を、医療ソーシャルワーカーが担当しております。

病気になって病院へ入院し、急性期の医療が概ね終わったあとは、地域包括ケア病床で自宅へ退院する準備を行い、自宅へ退院後、更に加齢、病気の悪化で生活面に支障が出たときは、主治医に相談し、地域包括ケア病床へ入院するという、「基本自宅、必要時入院」のサイクルが、この地域で整って参りました。

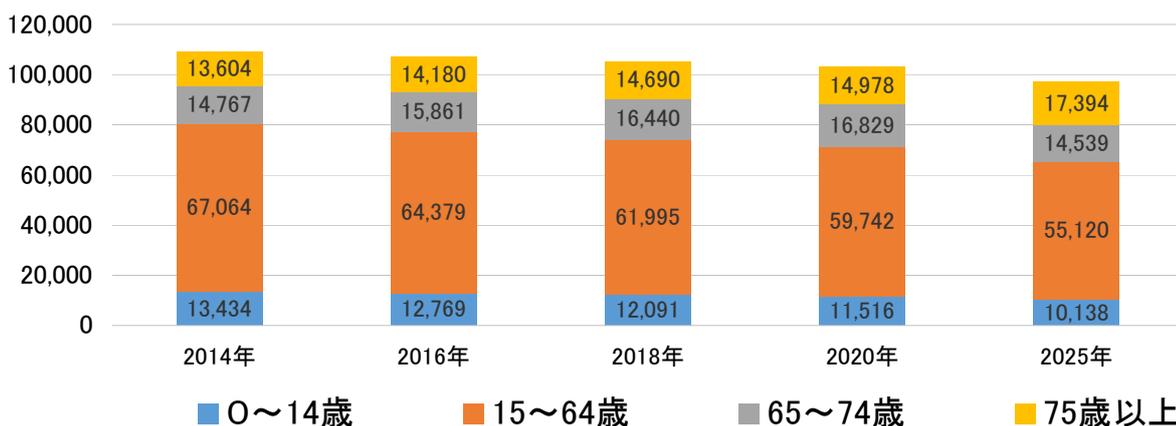
筑西市の人口は、2018年の105,216人が、2020年には103,065人と2年で2,151人が減少、2025年には97,191人と推計され、2020年より5,874人減ることになります。（図参照）

一方65歳以上の高齢者は、2018年が31,130人、2020年が31,807人、2025年には31,933人と、微増する予測です。更に65歳～74歳の高齢者と、75歳以上の後期高齢者の割合は、2020年で65歳～74歳が75歳以上を僅かに上回りますが、2025年には完全に逆転することが分かります。（図参照）

この地域の高齢化のなかで、私たち協和中央病院は、急性期の医療と併せ、地域包括ケア病床の機能を更に高め、地域包括ケアシステムの医療の役割が果たせるようにして行きたいと考えているところです。（地域包括ケア病床は、一般199床中、34床…平成30年9月1日届出）

地域包括ケア病床の詳細につきましては、医療福祉支援相談室へお尋ねください。

図 年齢別人口の推移と今後の見込み



## 相談室の仲間達



カサクラ ヤスヨ  
笠倉 康代

みなさま、初めまして。10月より医療福祉支援相談室にて介護支援専門員として勤務することになりました、笠倉康代と申します。

これまでは、協和中央病院の新館3階病棟（地域包括ケア病床）で看護師をしておりました。在宅復帰に向け、治療やリハビリを頑張っている患者様やその患者様を支えるご家族様との関わりを持つ中で、医療と介護の連携が重要だと感じる事が多くありました。病気を抱えながら在宅で生活する方が増えていますが、その人らしい生活が続けていけるよう、多職種連携を図り、支援していきたいと思っております。

介護支援専門員としては新人となります。一生懸命頑張り、日々成長していきたいと思っております。

宜しくお願いいたします。



## ～ 今が旬の食べ物の豆知識 ～



いよかん

いよかんにはビタミンCがたっぷりと含まれていて、風邪予防の効果やクエン酸も豊富なので、疲労回復に効果を発揮します。

いよかん（伊予柑）の漢字の由来は、いよかんが広く栽培されている伊予国（愛媛県）に、ちなんで付けられた名前です。



## 編集後記



明けましておめでとうございます。

今号は、「地域包括ケア病床の役割」と「旬の食べ物」、昨年10月より医療福祉支援相談室に加わった仲間の紹介を掲載しました。

2019年は新天皇が即位され、新たな元号となる年。どんな一年になるのでしょうか。

「ほかほか」は、今後も役立つ情報をお伝えできるよう頑張りますので、お楽しみに。

本年も幸多き一年になりますように。

### ★ ご意見・ご連絡先 ★

医療法人 恒貴会 協和中央病院  
医療福祉支援相談室  
発行責任者 青柳 利之

〒309-1195  
茨城県筑西市門井1676番地1

TEL 病院代表 0296-57-6131  
居宅介護支援直通 0296-57-7205  
医療福祉相談直通 0296-57-7230  
(休日・夜間 090-6935-3337)

FAX 0296-57-4676  
URL <http://www.kyowachuo.jp>  
Eメール [renkei@kokikai.com](mailto:renkei@kokikai.com)

